

## 関西支部勉強会レポート

### 第 23 回関西支部勉強会

#### 出会いのテクニックから学ぶ、コミュニケーションワークショップ

**日時** 2012年9月18日(火) 18:00~19:50 (+α)

**場所** 京都大学 吉田泉殿

**ゲスト** 堂野 能伸 氏 (NPO法人 ひと・まち・あーと 理事長/京都大学総合博物館 研究協力者)

**人数** 16名

科学コミュニケーション研究会という名称の中に含まれている「コミュニケーション」という単語。世の中には、いろいろな「コミュニケーション」を扱う領域があります。常々、他の領域での「コミュニケーション」をのぞいてみたいと思っていました。

そこで、今回の勉強会のテーマは、なんと「恋愛」のコミュニケーションプログラムです！堂野能伸さんをゲストに迎え、お話を頂きました。芸術作家でもある堂野さんは、独自の視点から、人と人との出会いの場を生み出していました。

#### 1. 堂野さんとこれまでの活動について

漫画家であり、京都精華大学マンガ学部や京都造形芸術大学マンガ学科の教員でもある。その他にも、判子屋さんをしたこともあるし、整体師をしたこともあるし、イギリスに滞在していたこともあるし…色々なことをやってきた。

そんなこれまでの自身の経験から…

「ものづくりをしている人は出会いが少ない！！出会いの場を作りたいぞ！」という想いが募る。

↓

**えんむす日運営委員会**を発足させる（6年前くらい）。

#### 2. えんむす日運営委員会とは??

- ・人と人との出会いを生む場づくりを行う！
- ・「焼き芋でえんむすび日」、「アフタヌーンティーでえんむす日」など、「○○

## 関西支部勉強会レポート

でえんむす日」という、えんむす日イベントを続々開催中。

・一般的な出会い系イベントと違うところは、主催者側も本気で出会いを求め、相手を探していること。主催者が上から目線で、参加者同士をくっつけようとするのではなく、自分だったらこんな設定があればいいなと思うことを取り入れるなど、常に参加者目線で考えている。

そもそもこのイベントを始めたきっかけは、堂野さん自身がお相手探しをするためだった。

毎回さまざまな発見、気づきがあり、えんむすびイベントは進化しつづけている。

↓

そして、このえんむす日から発生してきたのが、**恋たま講座**である。

### 3. 恋たま講座とは??

なかなかカップルとして成立できない方や、その後のお付き合いが続かない方。そこには、会話が苦手だったり、人見知りだったり、コミュニケーションになにかしら原因があるようだ。そこから、出会いのコツや、コミュニケーションのコツを学ぶための講座「恋たま講座（恋のたまご講座を略して恋たま）が始まった。

### 恋たま講座にみる、コミュニケーションの秘訣！

\* 講座の主な流れから

#### ① 見た目で8割

- ・ 短時間のイベントなので出会いのハードルは低くする。
- ・ 一緒に歩く人のことを考えて、服装・清潔感を考える。

#### ② 【話し方1】 自己紹介（1分で自分をつたえる）

- ・ 「基本情報（名前、出身など変わらない情報）」と「変わっていく情報（仕事、趣味、好きなものなどをインデックスに分けておく）」がある。
- ・ 初めに話すこと、聞かれたら話すことなど、自分をまとめてみる。

## 関西支部勉強会レポート

### ③【聞き方】相手のことを聴く

- ・相手のことを聴く → 聴という字。耳+目+心 でできている！
- ・見た目で判断しない。「理想」を追いかけるよりも「理想に近い」異性を探す。
- ・話に繋げるためにキーワードを探す
- ・5W1Hで話を引き出す。
- ・SOS 話法でほめる。(S:すごい、O:驚いた、S:さすが)
- ・Yes/No で答えられるクローズドな質問から、オープンな質問（人により答が色々ある）を展開する。
- ・でも、やりすぎに注意！（問いつめない！）

### ④【話し方2】話の展開

- ・トークのネタ、自分の得意分野を持つておく。
- ・自分の話が相手の話に繋がるように考える。 ←これ重要！

### ⑤【当日の流れをシミュレーション】

- ・電車の中、会場、交流タイムでどうする？何を話す？

## 恋たま講座の効果！

- ・恋たま講座に出た人の7割が、その後のえんむす日イベントで成功している！

## 4. 恋愛とコミュニケーション

- ・えんむす日イベントでも、休憩時間になると一気に会話が無くなる。  
なぜか?? → 「きっかけ」がないと話せない…らしい。
- ・色々と言いつけて行動し、きっかけを自分でつくろう。
- ・出会いはプレゼンテーションである。  
デートもまた、プレゼンである。  
相手に何をプレゼントしていけるか??

## 5. 意見タイム（質問、意見、つぶやきなど）

参加者：

「恋たま講座」は、自分分析が可能になりそう。就職活動など、色々なものに繋がられそう。接着剤に似ている（接合点をたくさん作ってくっつきやすくす

## 関西支部勉強会レポート

るところが)。

堂野さん：

マンガも似た部分がある。一般の人と科学をくっつけるものはマンガではないかと思う。興味を持ってもらい、身近なものに感じてもらうための接着部分として存在している。

加納：

早稲田大や九州大で行われている恋愛の授業の記事を見て、あ、堂野さんに話してもらおう！と思ったんだよね。

堂野さん：

コミュニケーションについて考える

→恋愛に前向きになれる+自分のことが分かってくる

Q. えんむすびイベントに参加して、その後はどうなるの？

A. 追跡調査はしていない。でも、結婚された方もいる。スタッフ同士、参加者とスタッフで付き合うこともあり。もとはといえば自分（堂野さん）が相手を探したくて始めたイベントだった。このイベントでコミュニケーションスキルが身に付いたおかげかも？

Q. 成功者（縁がある人）そうでない人（縁がない人）との違いはある？

A. 一歩前に出れるか、出れないか。

科学コミュニケーション研究会 関西支部有志

第23回勉強会・記録担当 渡川智子（京都大学）

第23回勉強会・運営担当 水町衣里（京都大学）、加納圭（滋賀大学）